

藤本由紀夫 CV

1950年 名古屋市生まれ

大阪市在住

個展

2024	「BLOOM'S BROOM」 シュウゴアーツ (東京) 「Sound and Vision」 ギャラリーノマル (大阪)
2022	「時間について」 ギャラリーキャプション (岐阜) 「READ」 サイギャラリー (大阪) 「WATER here and there」 アートビオトープ那須 (栃木)
2021	「Chamber Music Kyoto」 ACG Villa Kyoto (京都)
2020	「Yukio Fujimoto Sound Album」 シュウゴアーツ オンラインショー
2019	「星の読書・夏」 芦屋市立美術館 (兵庫)
2018	「ダッシュ」 ギャラリー島田 (兵庫) 「photo/graph」 サイギャラリー (大阪) 「アート／メディア—四次元の読書 第三期「コマ—回転と重力」」 国立国際美術館 情報コーナー (大阪)
2017- 2018	「STARS」 シュウゴアーツ (東京)
2017	「キュレトリアル・スタディズ 12：泉／Fountain 1917-2017 [Case 2: He CHOSE it. キュレーション：藤本由紀夫]」 京都国立近代美術館 (京都)
2016	「Broom (Coal) / Tokyo」 シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー (東京) 「藤本由紀夫／Der Kreisel」 SALON (兵庫)
2015- 2016	「THE BOX OF MEMORY」 京都アートホテル クマグスク (京都)
2015	「Sound and Vision - David Cunningham and Yukio Fujimoto」 Laure Genillard (ロンドン)
2014	「retard」 シュウゴアーツ (東京) 「music/box」 E&C ギャラリー (福井)
2013	「REVOLUTION & GRAVITY」 ギャラリーキャプション (岐阜)
2011	「n/t -phonography/photography-」 シュウゴアーツ (東京) 「philosophical toys」 ギャラリーキャプション (岐阜)
2010	「notes 1979-2009」 サイギャラリー (大阪)
2009	「藤本由紀夫展」 西脇市岡之山美術館 (兵庫) 「The Tower of Time」 アイコンギャラリー (バーミンガム) 「audio/visual V」 ギャラリーキャプション (岐阜) 「遠/近」 シュウゴアーツ (東京)
2007	「静/聴」 シュウゴアーツ (東京) 「関係」 和歌山県立近代美術館 (和歌山) 「+/-」 国立国際美術館 (大阪) 「philosophical toys」 西宮市大谷記念美術館 (兵庫) 「ECHO—潜在的音響」 広島市現代美術館 (広島)

	「see/here -見ることと聞くこと」高砂屋（城下町とっとり交流館）（鳥取）
2006	「アート@アグネス」アグネスホテル（東京） 「ここ、そして、そこ」名古屋市美術館（名古屋） 「audio/visual IV」ギャラリーキャプション（岐阜） 「美術館の遠足 10/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫） 「藤本由紀夫 HORIZONTAL MUSIC 展示公開」アートコートギャラリー（大阪）
2005	「美術館の遠足 9/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫） 「audio/visual III」ギャラリーキャプション（岐阜） 「藤本由紀夫作品・HORIZONTAL MUSIC 2日間だけの展示公開」ギャラリーキャプション（岐阜） 「哲学的玩具III」サイギャラリー（大阪）
2004	「美術館の遠足 8/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫） 「工芸館・藤本由紀夫・大原美術館」大原美術館工芸館（岡山） 「哲学的玩具II」シュウゴアーツ（東京）
2003	「audio/visual II」ギャラリーキャプション（岐阜） 「美術館の遠足 7/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫）
2002	「遠近の遊技」枚方市立御殿山美術センター（大阪） 「美術館の遠足 6/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫） 「in/out」京都芸術センター（京都） 「藤本由紀夫ベネチア・ビエンナーレ出品作品 SUGAR 帰国展」サイギャラリー（大阪）
2001	「美術館の遠足 5/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫） 「アートプロジェクト 和歌の浦の丘」和歌の浦・高津小山（和歌山） 「四次元の読書」CCGA 現代グラフィックアートセンター（福島） 「philosophical toys」サイギャラリー（大阪）
2000	「美術館の遠足 4/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫） 「audio/visual」ギャラリーキャプション（岐阜）
1999	「美術館の遠足 3/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫） 「六月：藤本由紀夫」ITAN-G（大阪） 「藤本由紀夫展」ヒロチカシゲギャラリー（岡山）
1998	「美術館の遠足 2/10」西宮市大谷記念美術館（兵庫） 「A RED MOON」サイギャラリー（大阪）
1997	「美術館の遠足 1/10」西宮市大谷記念美術館 「藤本由紀夫展 廻るものの滑稽」児玉画廊（大阪）
1996	「藤本由紀夫展」クローゼットギャラリー（大阪） 「藤本由紀夫展」ヒロチカシゲギャラリー（岡山） 「オブライエンの部屋」サイギャラリー（大阪）
1994	「藤本由紀夫展」ヒロチカシゲギャラリー（岡山） 「かぶと山 音の風景」京都府久美浜町（京都） 「藤本由紀夫展 版画展」サイギャラリー（大阪） 「藤本由紀夫 サウンドオブジェ展」児玉画廊（大阪）
1993	「ether of room II 藤本由紀夫展」プラスマイナスギャラリー（東京） 「藤本由紀夫 サウンド BOX 展」フィネガンズウェイク（大阪）
1992	「FATE & CHANCE」ヒルサイド・ギャラリー（東京） 「藤本由紀夫 サウンドインスタレーション」ライカ大阪本社エントランスホール（大阪）
1991	「4D」インターフォームアトリエ/フォトインターフォーム（大阪）

	「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展—聞こえかた・見えかたの実験室」INAX スペース（広島）
1990	「星」ジーベック（神戸） 「屋上の耳」児玉画廊（大阪） 「部屋のエーテル」HALS ギャラリー（東京） 「Yukio Fujimoto in Gulliver's Travels」ギャラリービューウ（大阪）
1989	「Self-Portrait」リトルギャラリー（大阪） 「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展」西脇市岡之山美術館（兵庫） 「藤本由紀夫 サウンド・オブジェ展」児玉画廊（大阪）
1988	「サウンドオブジェ 藤本由紀夫作品展」京都市立芸術大学ギャラリー（京都） 「Voice of Gallery」ヴォイスギャラリー（京都） 「Music of Miniature Garden」オープンハウスギャラリー（ニューヨーク） 「NOWHERE Dedicated to Lewis Carol」ノースフォート（大阪）
1987	「Magical Simulation」アートスペース（兵庫） 「F's Collection」ノースフォート（大阪） 「ミラノ近郊の別荘の不思議な中庭」ノースフォート（大阪）
1986	「箱庭の音楽」ノースフォート（大阪）

グループ展

2024	「ART in MINO 土から生える 2024」土岐市（岐阜）
2023	「時代の解凍」芦屋市立美術博物館（兵庫） 「手にとる展」+1art（大阪）
2022	「ストーリーミング・ヘリテージ 2022 台地と海のあいだ」伊藤家住宅（名古屋）
2021	「Treasure 1」ギャラリーノマル（大阪）
2020	「西宮市大谷記念美術館の<展覧会とコレクション>2」西宮市大谷記念美術館（兵庫） 「2018 年度受贈 新収蔵品展」西宮市大谷記念美術館（兵庫） 「美術と音楽の 8 日間「rooms」」芦屋市立美術博物館（兵庫） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）
2019	「30th - Miracle vol.2 / On the Wall」ギャラリーノマル（大阪） 「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2019」六甲高山植物園ほか（兵庫） 「林勇気 × 藤本由紀夫『Yuzu muge』」ギャラリーほそかわ（大阪） 「Voice and Sound Waves: The Japanese Scene」Felix Frachon Gallery（ベルギー） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京） 「目の目 手の目 心の目 part2」岡山県立美術館（岡山） 「透明な喫茶店」ホホホ座浄土寺センター（京都）
2018	「起点としての 80 年代」高松市美術館（香川） 「起点としての 80 年代」金沢 21 世紀美術館（石川） 「AllStars」ギャラリーノマル（大阪） 「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）
2017	「非在の庭 最終章」アートスペース虹（京都） 「ニュイ・ブランシュ KYOTO 2017 見立てと想像力—千利休とマルセル・デュシャンへのオマージュ」元淳風小学校（京都） 「20th DOMANI・明日展 PLUS×日比谷図書文化館」日比谷図書文化館（東京） 「港都 K O B E 芸術祭 時を刻み、豊かな広がりへ『rendez-vous』」神戸ポートターミナルホール（兵庫）

	「シュウゴアーツショー」 シュウゴアーツ (東京)
2016	「オープン・スペース 2016 メディア・コンシャス」 NTT インターコミュニケーション・センター (東京)
2015	「Sound and Vision -David Cunningham and Yukio Fujimoto-」 Laure Genillard (ロンドン) 「シュウゴアーツ：毎週末の画廊、三宿 SUNDAYの隣」 シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー (東京) 「phono/graph - sounds, letters, graphics」 神戸アートビレッジセンター (兵庫)
2014	「音のステーション」 アートエリア B1 (大阪) 「Speaking Sculpture」 ギャラリーノマル (大阪) 「絵画の輪郭」 シュウゴアーツ (東京) 「Favorite Books」 ギャラリーノマル (大阪) 「phono/graph - sound, letters, graphics」 ギンザ・グラフィック・ギャラリー (東京)
2013	「ZBO: Yukio Fujimoto + .es」 ギャラリーノマル (大阪) 「堂島リバービエンナーレ 2013 - Little Water」 堂島リバーフォーラム (大阪) 「アートがあれば II-9 人のコレクターによる個人コレクションの場合」 東京オペラシティ アートギャラリー (東京) 「無何有郷—ユートピア, うつくしいかたち」 四国民家博物館 (香川) 「ギャラリー・ショー」 シュウゴアーツ (東京) 「phono/graph」 名古屋芸術大学 アート&デザインセンター (愛知) 「ShugoArts Show - recent works / early works」 シュウゴアーツ (東京) 「Re:Quest—1970 年代以降の日本現代美術」 ソウル大学校美術館 (ソウル) 「周縁からのフィールドワーク」 ギャラリー・オブ (京都)
2012	「mukiesa? -身につけるアート-」 ギャラリーノマル (大阪) 「phono/graph」 Dortmund U (ドルトムント) 「PEKE 1: Talk Session and Exhibition / Session 5: 藤本由紀夫 x 松井智恵」 ギャラリーノマル (大阪) 「One Week Show - Resonance」 ギャラリーノマル (大阪) 「NOTATIONS -THE CAGE EFFECT TODAY-」 HUNTER COLLEGE / TIMES SQUARE GALLERY (ニューヨーク) 「記録する視線」 シュウゴアーツ (東京)
2011	「BOX」 ギャラリーノマル (大阪) 「オムニログ：オルタネイティング カレント： 3.11 以降の日本現代美術」 Perth Institute of Contemporary Arts (PICA) (パース) 「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2011」 オルゴールミュージアム ホール・オブ・ホールズ六甲 (兵庫) 「耳をすまして - 美術と音楽の交差点」 茨城県近代美術館 (茨城) 「phono/graph - 音・文字・グラフィック」 ddd ギャラリー (大阪) 「Art in an Office - 印象派・近代日本画から現代絵画まで」 豊田市美術館 (愛知) 「ほんをさがして」 ギャラリーほそかわ (大阪)
2010	「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2010」 オルゴールミュージアム ホール・オブ・ホールズ六甲 (兵庫) 「Negotiation - Today's Documents 2010」 Today Art Museum (北京) 「The Record: Contemporary Art and Vinyl」 Nasher Museum of Art at Duke University (ダーハム、アメリカ) 「Living with art - Contemporary Art from Japan and Taiwan」 Yi&C.Contemporary Art space (台北)

2009	<p>「2009年コレクション展 II 美術の中のかたち -手で見える造- SHADOW -exhibition obscura-」 兵庫県立美術館（兵庫）</p> <p>「神戸ビエンナーレ 2009 招待作家展 LiNK-しなやかな逸脱」兵庫県立美術館（兵庫）</p>
2008	<p>「ライト・[イン]サイト 拡張する光、変容する知覚」NTT インターコミュニケーションセンター[ICC]ギャラリーA ほか（東京）</p> <p>「時間の形」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川）</p> <p>「開館 20 周年記念 コレクション+（プラス）ひびきあう音・色・形」高松市美術館（香川）</p> <p>「小杉武久+藤本由紀夫展 音楽」国際芸術センター青森（青森）</p>
2007	<p>「加藤義夫芸術計画室 10 周年記念 ヨッチャンの部屋 vol.3 インディペンデントキュレーター の個展 現代美術芸術家列伝展」大阪造形センター（大阪）</p> <p>「第 52 回 ヴェニス・ビエンナーレ」アルセナーレ（ヴェニス）</p> <p>「HERE/THERE」サイギャラリー（大阪）</p> <p>「アーモリー・ショウ 2007」94 悼頭（ニューヨーク）</p> <p>「CAP 新春初売り 福袋」CAP HOUSE（兵庫）</p>
2006	<p>「木材：本」ノマル・プロジェクトスペース（大阪）</p> <p>「取手アートプロジェクト 2006」取手市内（取手）</p> <p>「第 21 回 国民文化祭・やまぐち 2006 彫刻展」宇部市内商店街（山口）</p> <p>「サステイナブル・アートプロジェクト 2006」旧平櫛田中邸（東京）</p> <p>「常設展」サイギャラリー（大阪）</p> <p>「大枝アートプロジェクト 椎原保+藤本由紀夫展 大枝の鏡」上の池・下の池（京都）</p> <p>「新開地生誕 100 年の饗宴 ドキュメント展」神戸アートビレッジセンター（兵庫）</p> <p>「新収蔵品展」西宮市大谷記念美術館（兵庫）</p> <p>「CAPARTY vol.23 アートのお買い物」CAP HOUSE（兵庫）</p> <p>「composition 建築する音」アートコートギャラリー（大阪）</p> <p>「再生 孕む彫刻 今村源・曾我考司・藤本由紀夫・若林奮」ギャラリーほそかわ（大阪）</p> <p>「A ランチ」AXIS GALLERY ANNEX（東京）</p> <p>「HERE & THERE」CAP HOUSE（兵庫）</p> <p>「ドローイングと…。垣内玲・杉山知子・藤本由紀夫・中西信洋」サイギャラリー（大阪）</p> <p>「謹賀新年 アーティストの見たもの」CAP HOUSE（兵庫）</p>
2005	<p>「西から東から」シュウゴアーツ（東京）</p> <p>「ガラスの中の小旅行」京都造形芸術大学ギャラリーRAKU（京都）</p> <p>「GAPARTY welcome to GAP HOUSE 2005」GAP HOUSE（神戸）</p> <p>「decade - CCGA と 6 人の作家たち」CCGA 現代グラフィックアートセンター（福島）</p> <p>「ストック・コラボレーション展 vol.2」大阪府立現代美術センター（大阪）</p> <p>「サマーショウ」シュウゴアーツ（東京）</p> <p>「CAP NEW WORKS '05」CAP HOUSE（兵庫）</p> <p>「超 [メタ] ヴィジュアル」東京都写真美術館（東京）</p> <p>「茨木の耳／北浜の耳」橋本工務店（大阪）／MEN（大阪）</p> <p>「風景遊歩」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川）</p> <p>「泉北アートプロジェクト」和泉市久保惣記念美術館 他（大阪）</p> <p>「新収蔵品展」西宮市大谷記念美術館（兵庫）</p> <p>「マルセル・デュシャンと 20 世紀美術」横浜美術館（横浜）</p>
2004	<p>「マルセル・デュシャンと 20 世紀美術」国立国際美術館（大阪）</p> <p>「『これはデュシャンではない』、ですか。藤本由紀夫、森村泰昌二人展」MEM（大阪）</p> <p>「SPIRAL TAKE ART COLLECTION 2004」スパイラル（東京）</p> <p>「子ども都市 虹の要塞」金沢 21 世紀美術館（金沢）</p>

	<p>「KONDO の出張美術室 鑑賞編」ギャラリーキャプション (大阪)</p> <p>「6人の作家 articulation 2004」アートコートギャラリー (大阪)</p> <p>「WORKS IN PROGRESS」京都造形芸術大学ディーズギャラリー (京都)</p> <p>「multiples」ノマルエディション／プロジェクト・スペース (大阪)</p> <p>「GAPARTY vol.18 アートでお買い物」GAP HOUSE (神戸)</p> <p>「第1回 北京芸術区国際アートフェスティバル」大山子芸術区 (北京)</p> <p>「常設展」サイギャラリー (大阪)</p> <p>「心の在り処 -日本の現代美術-」モスクワ現代美術館 (モスクワ)</p> <p>「CAP 版画展」CAP HOUSE (兵庫)</p> <p>「ファン・デ・ナゴヤ美術展 2004 サウンド・マイン・ナゴヤ」名古屋市民ギャラリー矢田 (愛知)</p> <p>「新収蔵品展」西宮市大谷記念美術館 (兵庫)</p>
2003-2004	<p>「心の在り処 -日本の現代美術-」ルードヴィヒ美術館 (ブダペスト)</p>
2003	<p>「christmas show 2003」ギャラリーキャプション (岐阜)</p> <p>「CAP HOUSE vol.17 CAP HOUSE がバザー」CAP HOUSE (兵庫)</p> <p>「CAP HOUSE 小作品展」CAP HOUSE (兵庫)</p> <p>「ドローイングと…。 大森裕美子・高柳恵里・中西信世・藤本由紀夫」サイギャラリー (大阪)</p> <p>「記憶の測量計 近江、町屋の月遊び」ボーダレス・アートギャラリーNO-MA (近江八幡、滋賀)</p> <p>「CAP HOUSE vol. 15 アートでお買い物」CAP HOUSE (兵庫)</p> <p>「銭湯プロジェクト」日光温泉 (大阪)</p> <p>「大阪府立現代美術センターコレクション展 現代版画」大阪府立現代美術センター (大阪)</p> <p>「CAP HOUSE 常設展 vol.1」CAP HOUSE (兵庫)</p> <p>「常設展」サイギャラリー (大阪)</p> <p>「第2回カオス展 見出される五感」大阪府中央公会堂／サイギャラリー (大阪)</p> <p>「新収蔵品展」西宮市大谷記念美術館 (兵庫)</p>
2002	<p>「アトリエ美術館 - 遠近の遊戯」御殿山生涯学習美術センター (大阪)</p> <p>「stay with art 窓辺の緑」HOTEL T'POINT (大阪)</p> <p>「ベヨルト CALLING 2002 in NAGOYA」得三 (名古屋)</p> <p>「Welcome to CAP HOUSE -2002 秋」CAP HOUSE (兵庫)</p> <p>「ON THE TROT」ギャラリーキャプション (岐阜)</p> <p>「ミュージアム・シティ・プロジェクト 2002」博多ホテルぞん・たあく (福岡)</p> <p>「アート音楽館」釧路市立美術館 (北海道)</p> <p>「杉山知子・塚脇淳・藤本由紀夫 ドローイング展」CAP HOUSE (兵庫)</p> <p>「カフェ・イン・水戸」水戸美術館 (水戸)</p> <p>「本と美術 20世紀の挿絵本からアーティスト・ブックスまで」徳島県立近代美術館 (徳島)</p> <p>「ceramica - 遠藤利克&藤本由紀夫」ニューリンアートギャラリー (ペンザンス)</p> <p>「GHOST 石川亮・藤本由紀夫・少年少女科学クラブ」サイギャラリー (大阪)</p> <p>「映像体験ミュージアム イマジネーションの未来へ」東京都写真美術館 / 倉敷市立美術館, 岡山 / 福井県立美術館</p>
2001	<p>「空間のコンポジション クレー、カンディンスキーそしてモネ」アサヒビール大山崎山荘美術館 (兵庫)</p> <p>「FACTS OF LIFE - Contemporary Japanese Art」ヘイワード・ギャラリー (ロンドン)</p> <p>「Unter Anderen - among others 4」クンストラーハウス (ドルトムント)</p>

	「第49回ヴェネチア・ビエンナーレ」日本館（ヴェネチア）
2000	「淡路夢舞台創造祭」淡路夢舞台（兵庫） 「非在の庭」アートスペース虹（京都） 「ガーデン 現代美術をとおしてみる後楽園」後楽園（岡山） 「CAPARTY vol.9 CAP HOUSE でバザー」CAP HOUSE（兵庫） 「Towards Utopia」海岸通ギャラリーCASO（大阪） 「その日に 5年後、77年後 震災・記憶・芸術」川崎市岡本太郎美術館（神奈川） 「子どものための美術展 2000 アートで学ぼうアートを遊ぼう」広島市現代美術館（広島） 「Welcome to CAP HOUSE」CAP HOUSE（兵庫） 「秋葉原 TV2」秋葉原電気街（東京） 「イチハラヒロコ・藤本由紀夫」サイギャラリー（大阪）
1999	「岡田一郎+藤本由紀夫」アートスペース虹（京都） 「南芦屋浜コミュニティ&アートフェスティバルドキュメント展・Part II」芦屋市立美術博物館（兵庫） 「五感の芸術—その身体の拡張」クンストハウス（ハンブルグ） 「ART PACKING in Hirano '99」大阪市平野郷内（大阪） 「恋スル身体 A SENSE of REALITY」宇都宮美術館（栃木）
1998	「アート遊園地」伊丹市立美術館（兵庫） 「モダン de 平野」大阪市平野区旧平野郷内（大阪） 「南芦屋浜アートフェスティバルドキュメント展・Part 1」芦屋市立美術博物館（兵庫）
1997	「モダン de 平野」大阪市平野区旧平野郷内（大阪） 「4th 北九州ビエンナーレ 感覚の庭」北九州市立美術館（福岡） 「新しい関西の美術家たち ものとあらわれ」和歌山県立近代美術館（和歌山） 「アートラビリンスII 時の記憶」岡山県立美術館（岡山） 富山市民プラザ（富山）
1996	「トポスの復権展2 美術家と建築家のコラボレーション」アサクラギャラリー／ヒルサイドフォーラム（東京） 「3D-LAB. Part3 知覚の快楽」東京都写真美術館（東京） 「モダン de 平野」大阪市平野区旧平野郷内（大阪） 「写楽再見」国際交流基金フォーラム（東京） 「植物採集展 光合成の原理」児玉画廊（大阪） 「光の記憶'96 藤本由紀夫+笹岡敬展」キュービックギャラリー（大阪） 「藤本由紀夫 + 笹岡敬展」キュービックギャラリー（大阪） 「ひかる・うごく・おとがする 20世紀美術の静かならざる作品たち」和歌山県立近代美術館（和歌山）
1995	「THE BIRTH 2000 誕生に向けて 1・9・9・5」ギャラリー夢創館（神戸） 「CAPARTY Vol.1 ONEDAY ART PARTY」ジーベック（兵庫） 「アートワークみの」岡山市立御野小学校（岡山） 「TRANS IMAGE 視覚で遊ぶ夢の映像装置展」タワーギャラリー（横浜） 「やわらかく 重く 現代日本美術の場と空間」埼玉県立近代美術館（埼玉）／ライフ・ギャラリー（コロンバス） 「第2回双方向美術展（続）」サムミュージアム（大阪）
1994	「往復するメッセージ 第2回双方向美術展」サムミュージアム（大阪） 「庭の住人 コンプレッソ・プラスティコ・藤本由紀夫」ふくやま美術館（広島） 「眼の宇宙 かたちをめぐる冒険 明日の美術館を求めてIII」兵庫県立近代美術館（兵庫） 「心で見る美術展 私を感じて」名古屋市美術館（愛知）

	<p>「現代日本デザイン展」ソウル国立現代美術館（ソウル）</p> <p>「アーティストショップ '94」サイギャラリー（大阪）</p> <p>「親と子で見る 楽しい現代美術」芦屋市立美術博物館（兵庫）</p> <p>「アートは楽しい5 身体美術感」ハラミュージアムアーク（群馬）</p> <p>「時間／美術 20世紀美術における時間の表現」滋賀県立近代美術館（滋賀）</p> <p>「21世紀・的・空間 現代美術と民族的空間の出会い 日本の眼と空間III」セゾン美術館（東京）</p> <p>「アート・ラビリンス 90年代美術への視座」岡山県立美術館（岡山）</p> <p>「3D STUDIO ステレオ・プレイ！展」サムミュージアム（大阪）</p> <p>「感覚による思索：曾我孝司+藤本由紀夫+森口ゆたか <京都の美術：昨日・きょう・明日>」京都市美術館（京都）</p>
1993	<p>「MUSIC - every sound includes music」ジーベック（神戸）</p> <p>「Japanische Künstler」デュッセルドルフ市美術館（デュッセルドルフ）</p> <p>「キッズアートランド」直島コンテンポラリーアートミュージアム（香川）</p> <p>「3D LOVE 立体視への招待」東京都写真美術館（東京）</p> <p>「Giappone - Anni Novanta」ローマ市立フォルクローレ美術館（ローマ）</p> <p>「Gemini 二つの眼と一つの脳による読書術」インターフォーム（大阪）</p> <p>「アーティストショップ '93」サイギャラリー（大阪）</p>
1992	<p>「ミュージアム・シティ天神'92」福岡市天神地区（福岡）</p> <p>「アート・ナウ'92 12人の実践 90年代美術の新地平」兵庫県立近代美術館（兵庫）</p> <p>「3D 実験室 藤本由紀夫・永原康史」スタジオ 0422（東京）</p> <p>「時のおもちゃ箱」プティ・ミュゼ（東京）</p> <p>「ヤグラット もうひとつのパブリックアート」小西ギャラリー（京都）</p> <p>「UNDR - Kunst Videnskab Teknik」シャロットテンボー美術館（コペンハーゲン）</p> <p>「アーティストショップ'92」サイギャラリー（大阪）</p> <p>「ヤグラット光台'92」関西文化学術研究都市（大阪）</p>
1991	<p>「第9回大阪現代アートフェア'91」大阪府立現代美術センター</p> <p>「静かな部屋」ジーベック（神戸）</p> <p>「ANIMATED IMAGINATION 視覚への欲求」東京都写真美術館（東京）</p> <p>「現代美術'91 素材はいろいろ」徳島県立近代美術館（徳島）</p> <p>「みる・きくウォール」大阪市立南中学校跡地開発工事堀（大阪）</p> <p>「ヴォイスギャラリー5周年記念展 マルガリータ・フィールドのために」ヴォイスギャラリー（京都）</p> <p>「藤本由紀夫+笹岡敬展」現代中国藝術センター（大阪）</p> <p>「芸術祭典・京・造形部門 新古典空間学」岩城邸（京都）</p> <p>「箱の世界 do it yourself」水戸芸術館現代ギャラリー（茨城）</p>
1990	<p>「右眼と左眼 TWO DAYS EXHIBITION FOR TWO EYED MAN」ピクチャーフォトスペース（大阪）</p> <p>「立体ステレオ写真ショー」ギャラリーピクチャー（大阪）</p> <p>「流動する美術II メディアの複合 音と造形」福岡市美術館（福岡）</p> <p>「サウンドガーデン3」ストライプハウス美術館／ハイネケンビレッジ（東京）</p> <p>「茨木現代美術展 17」茨木市立青少年センター（大阪）</p>
1989	<p>「151年目の写真展」ハイネケンビレッジ（東京）</p> <p>「音のある美術」栃木県立美術館（栃木）</p> <p>「形・音楽・筆展」ノースフォート（大阪）</p>
1988	<p>「12月の卓上」ヴォイスギャラリー（京都）</p>

	「小杉武久・藤本由紀夫展」 アートスペース（兵庫） 「茨木現代美術展 15」 茨木市立青少年センター（大阪） 「足穂と三ちゃん」 アートスペース（兵庫） 「第 14 回現代芸術'88 東京展」 東京都美術館（東京）
1987	「二〇世紀少年展覧会 懐かしの七月」 ピクチャースペース（大阪） 「部分」 ギャラリー射手座（京都）
1986	「右眼と左眼 ステレオ写真の展開」 ピクチャーフォトスペース（大阪） 「NDEPENDENT ART」 アートスペース レ・ボア（大阪） 「二〇世紀少年展覧会」 ギャラリー中森（札幌）、NEWZ ギャラリー（東京）
1984	「第 4 回ビデオ・アンデパンダン展 アート&ドキュメント」 大阪芸術センター（大阪）
1981	「インスタント・アート展」 ソニータワー（大阪）
1980	「第 1 回ビデオ・アンデパンダン展 アート・アンド・ドキュメント」 大阪府立現代美術センター
1979	「NEW PICNTIC TIME」 大阪芸術センター

パブリックコレクション

CCGA 現代グラフィックアートセンター（福島）
原美術館 ARC（群馬）
国際交流基金（東京）
東京都現代美術館（東京）
ファーレ立川（東京）
彫刻の森美術館（神奈川）
大阪府立現代美術センター（大阪）
国立国際美術館（大阪）
岩倉市（愛知）
名古屋市美術館（愛知）
兵庫県立美術館（兵庫）
西宮市大谷記念美術館（兵庫）
南芦屋浜団地（兵庫）
広島市現代美術館（広島）
高松市美術館（香川）
大分県立美術館（大分）
豊後高田市（大分）